

株式会社パルコ 2014年度第1四半期(3月～5月)説明資料

1. 業績概要

パルコの売上好調に加え専門店事業の積極的な出店などにより、第1四半期として3期連続の増収増益、単体では過去最高益を達成

□ 第1四半期 業績

百万円

連結	当期 3月～5月	前期 3月～5月	増減額	前年 同期比
売上高	67,670	65,282	2,388	103.7%
営業利益	3,011	2,781	229	108.3%
経常利益	2,998	2,755	242	108.8%
四半期純利益	1,647	1,587	59	103.8%
EBITDA	4,398	4,205	192	104.6%

単体	当期 3月～5月	前期 3月～5月	増減額	前年 同期比
売上高	62,007	59,900	2,106	103.5%
営業利益	2,944	2,710	233	108.6%
経常利益	2,945	2,794	151	105.4%
四半期純利益	1,695	1,678	17	101.0%
EBITDA	4,226	4,035	191	104.7%

※ EBITDAは「営業利益+減価償却費」にて算出しています

□ セグメント情報

百万円

連結		当期 3月～5月	増減額	前年 同期比
ショッピング センター事業	売上高	61,364	1,834	103.1%
	セグメント利益	2,831	239	109.2%
専門店事業	売上高	4,789	489	111.4%
	セグメント利益	130	80	261.4%
総合空間事業	売上高	4,888	55	101.2%
	セグメント利益	96	▲17	84.4%
その他の事業	売上高	1,817	316	121.0%
	セグメント損失	▲16	▲63	-
連結	売上高	68,696	2,498	103.8%
	セグメント利益	3,011	229	108.3%

※ セグメント別の業績における売上高には、営業収入が含まれています
 ※ セグメント利益または損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっています
 ※ (株)パルコのエンタテインメント事業の業績は、「その他の事業」に含まれています
 ※ 事業間での調整があるため、各事業業績の合計と連結の数値は異なります

□ 販売費及び一般管理費の主な内訳

百万円

連結	当期 3月～5月	増減額	前年 同期比
人件費	2,485	66	102.7%
借地借家料	2,134	101	105.0%
宣伝費	1,039	▲38	96.5%
業務委託費	1,294	▲26	98.0%
営繕費	363	▲11	97.1%
水道光熱費	307	61	125.0%
減価償却費	1,386	▲37	97.4%
租税公課	348	▲87	80.0%
共益費戻入	▲1,951	33	98.3%
販売費及び 一般管理費	8,097	79	101.0%

□ 営業外損益の主な内訳

百万円

連結	当期3月～5月	増減額
営業外収益	120	▲11
受取利息	16	▲0
営業外費用	134	▲24
支払利息	119	▲16

□ 特別損益の主な内訳

百万円

連結	当期3月～5月	増減額
特別利益	-	▲10
投資有価証券売却益	-	▲10
特別損失	225	150
固定資産除却損	209	135
減損損失	14	14

- ・ 連結売上高は、(株)パルコの売上高好調に加え、(株)ヌーヴ・エイの7店舗新規出店などにより、増収
- ・ 連結営業利益、経常利益、四半期純利益は、(株)パルコの売上高増加に加え、前年度出店したゼロゲート3店舗のフル稼働や(株)ヌーヴ・エイの新規出店に伴う利益増などにより、増益
- ・ この秋、名古屋ゼロゲート、福岡パルコ新館のオープンを予定。来期以降も、札幌のゼロゲート、仙台の新館(共に2016年春オープン予定)、上野への出店(2017年秋オープン予定)を計画

* オープン予定の店舗名は仮称です

2. 単体 店舗営業概況

テナント売上は、都心・コミュニティ型店舗グループとも前年同期を上回り堅調に推移。5月には増税前駆け込需要の反動減から回復

□ 単体 店舗別テナント売上高

百万円

店舗名		当期3月～5月	前年同期比
都心型店舗グループ	札幌パルコ	2,872	109.0%
	仙台パルコ	3,328	100.9%
	池袋パルコ	7,080	101.2%
	渋谷パルコ	3,707	108.9%
	静岡パルコ	2,473	97.8%
	名古屋パルコ	8,746	102.3%
	広島パルコ	4,283	103.4%
	福岡パルコ	3,248	111.7%
8店舗 計		35,741	103.7%
コミュニティ型店舗グループ	宇都宮パルコ	1,154	94.1%
	浦和パルコ	4,562	108.4%
	新所沢パルコ	2,336	106.5%
	千葉パルコ	1,484	91.5%
	津田沼パルコ	2,311	98.4%
	ひばりが丘パルコ	1,980	102.3%
	吉祥寺パルコ	1,921	99.4%
	調布パルコ	4,377	100.8%
	松本パルコ	1,899	104.2%
	大津パルコ	1,145	101.3%
	熊本パルコ	1,323	102.9%
	11店舗 計		24,496
合計		60,238	102.9%

□ 単体 テナント売上高月別推移

	3月	4月	5月	3月～5月
前年同期比	111.3%	94.8%	101.5%	102.9%

□ 単体 買上げ客数、客単価 前年同期比月別推移

	3月	4月	5月	3月～5月
買上客数	103.1%	97.6%	102.5%	101.2%
客単価	108.2%	98.3%	99.6%	102.4%

□ 単体 改装状況

改装規模	区画数	139
	内、新規出店区画数	81
	改装面積	約18,000㎡
改装効果	ゾーン売上高前年同期比	133.1%

□ 単体 アイテム別売上高 前年同期比

		当期3月～5月
衣料品	婦人服	95.5%
	紳士服	95.3%
	衣料品総合	108.7%
計		99.5%
身回品	靴	99.0%
	バッグ	131.7%
	装身具	103.7%
	化粧品	110.0%
計		106.6%
雑貨	教養雑貨	106.7%
	趣味・家庭雑貨	105.0%
計		105.7%
食品		99.2%
飲食		106.5%
その他(サービスほか)		112.7%

□ クレジットカード概況

クレジットカード取扱高(百万円)	29,188	
前年同期比、売上高シェア	108.4%	41.9%
パルコカード取扱高(百万円)	15,125	
前年同期比、売上高シェア	109.7%	21.7%
パルコカード会員数(千人)	1,706	

□ 単体 売場概要

店舗数	19	契約法人数	817
テナント総数	2,366		
営業面積	442,600㎡		

※ アイテム別売上高、改装ゾーン売上高、買上客数、客単価の前年同期比は、『店舗総合売上高』によるものです。『店舗総合売上高』とは、店舗の総合的な販売力を表示するため、テナント売上高に、パルコ劇場などの売上高・固定賃料テナントの売上高を加えたものです
 ※ 営業面積は、テナント面積および共用面積です ※パルコカード会員数と単体売場概要は2014年5月末現在の数値です

- ・ 来店客のニーズに応えるアイテムバランスを実現している店舗(渋谷パルコ・福岡パルコ・浦和パルコなど)や、インバウンド需要による好調店舗(渋谷パルコ・札幌パルコなど)が売上を牽引
- ・ 約18,000㎡(前年同期比117.6%)の改装を実施し、改装ゾーン売上高も好調に推移(同133.1%)
- ・ アイテム別では、ヒット商品に恵まれたバッグを中心とした身の回り品と、雑貨、飲食が好調
- ・ パルコカード取扱高は前年同期比109.7%と順調推移